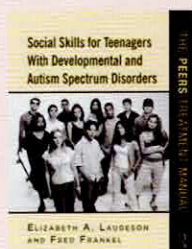


PEERS®

思春期ASDと社会性に課題のある子どもたちのための ソーシャルスキルトレーニングプログラム



PEERS® 指導者養成トレーニングセミナーは、メンタルヘルスの専門家、教育者、医療 / 福祉分野の専門家、言語療法士、作業療法士、その他社会性に課題のある若者への支援を職業としている専門家等を対象に企画されているものです。PEERS® は、UCLA の Dr.Laugeson によって作られた ASD の思春期～成人期の若者のためのエビデンスのあるプログラムであり、ADHD、不安神経症、鬱、またそれ以外の社会性に課題のある若者にも実践され、その効果が認められています。セミナー参加者は、指導マニュアル（The PEERS® Training Manual (Laugeson & Frankel, 2010- 日本語版「友達作りの SST」山田智子他監訳：金剛出版）をテキストとして3日間で合計 24 時間のトレーニングを受けます。

日本で唯一 PEERS® 認定資格が取得できる

指導者向けセミナー開催

PEERS® の実践方法を詳しく説明する、指導者向けの3日間特別セミナーです。
このセミナーを修了された方はUCLAの PEERS® 認定講師となることができます。

参加者
募集!

日時 2026 3/20(祝・金)・21(土)・22(日) 9時～17時 3日間のプログラム

会場 ①クリスタルタワー 大阪府大阪市中央区城見1-2-27 ②ZOOMによる上記会場からのオンライン配信

定員 40名 費用 138,600円(税込) 講師 山田 智子 小児発達学博士
UCLA PEERS® 認定講師 臨床心理士/特別支援教育士

主催 一般社団法人SSTAR



詳細・お申し込み
<https://sstar.or.jp>





PEERS®

PEERS® (Program for Education and Enrichment of Relational Skills) とは、米国 UCLA の研究者 (Dr.Elizabeth Laugeson) によって思春期の自閉スペクトラム症 (ASD) や社会性に課題のある子ども達に向けに作成されたプログラムです。認知行動療法理論と保護者のサポートを基本原理としており、グループで取り組みます。カリキュラムは、社会適応に重要な役割を果たす“友達作り”と、その良い関係を維持していくために必要なスキルに焦点を当てられています。このプログラムは北米を始めとして世界各国の研究で効果検証がされ、その効果が認められたエビデンスのあるソーシャルスキルトレーニングです。



セミナーで 学べること

- ・全 14 回の子どもセッションと保護者セッションのレッスン概要
- ・友達を作り、良い関係を築くための具体的なルールとステップ
- ・仲間からの拒否や思いのすれ違いへの効果的な対応方法
- ・新しく学んだスキルを練習するユニークで楽しいアクティビティについて
- ・それぞれのスキルを身につけ、般化していくための宿題について
- ・スキルと宿題について説明された保護者向け配布資料について
- ・陥りがちなトラブルを乗り越えるための方法や対策に向けてセラピストがすべきこと
- ・このプログラムの有効性を示す先行研究の概要

PEERS® で扱う 指導内容



- ・楽しく会話をするには
- ・会話に入る / 会話から抜ける方法
- ・電話・ネット・SNS の使い方
- ・自分に合った友達の見つけ方
- ・ユーモアの適切な使い方
- ・友達と一緒に楽しく遊ぶためのステップ
- ・スポーツマンシップ
- ・思いのすれ違いへの対応方法
- ・からかいやいじめへの対応方法



トレーニング の目的

- ・思春期の ASD や社会性に課題のある子ども達に見られる、友だち関係の問題や社会性の困難さについて学ぶこと。
- ・思春期の子ども達や保護者へのグループセッションの実施の仕方について学ぶこと。
- ・PEERS® 指導マニュアルの使い方と、PEERS® に関する研究について学ぶこと。
- ・PEERS® を教育現場、医療・福祉、研究等の場面で実施する方法を身につけること。

セミナー参加者の感想から

“ 講義にエピソードが盛り込まれており分かりやすく、楽しく受講できました。実践してみたいという気持ちになりました。何度も質問させていただいたのですが、全ての質問にとっても丁寧に御回答頂き、大変有難かったです。PEERS の魅力を感じられる研修でした。

“ とても丁寧な指導内容であったことと、ロールプレイや子どもセッション、保護者セッションの様子などの映像があったので、よりイメージがしやすく、わかりやすかったです。

“ これまで SST のいろんな講習を受けてきましたが、思春期のお子さんに向けての実践的なお話は少なく、「思春期はロールプレイや宿題が難しい、SST のやり方に縛られずに、話だけでもよい」と言われたこともありましたが、ただ、それでは般化は難しいし、おさんは頭ではわかっていても実践できないことが多いので、何とかせつかく来てくれるお子さんに役立つようにと試行錯誤してきました。先生がおっしゃっていた、エビデンスに基づくプログラムで、しかもマニュアルがあることの大切さがすごくわかった気がします。



講師
山田 智子

小児発達学博士

UCLA PEERS® 認定講師

臨床心理士/特別支援教育士

- ・米国カリフォルニア州サンタクララ大学大学院
カウンセリング心理学修士号取得
- ・大阪大学大学院連合小児発達学研究科博士号取得

2015年に日本人として初めてのUCLA PEERS Certified Provider(思春期向けプログラム)となる。その後、School based program(学校向けプログラム)と Young Adult program(成人期向けプログラム)の指導者資格も取得。博士課程においてPEERS®の日本での有効性を研究し、日本でもその効果が認められることを検証した。2015年以降大阪、金沢、オンライン等で本プログラムを継続実施している。また長年にわたり、臨床心理士としてカウンセリング、心理学/発達障害等について専門家や保護者への研修会、講演会等を行なっている。